

## 子育て支援について

柴田学園大学 短期大学部 保育科

江苅川 淳子

TEL0172-32-6151

FAX0172-32-6153

e-mail j-ekarigawa@shibata.ac.jp

キーワード

子育て支援、保護者、乳幼児、養育力、愛着関係、コミュニケーション、絵本の読み聞かせ

### 【研究① 保育士養成校における子育て支援の学びについて】

子育て支援とは、保護者が抱く子育ての不安や戸惑いを解消したり、子どもの成長を感じたりすることで、子どもを育てる喜びを実感し、保護者の養育力を高めることである。保護者からの相談内容は、園生活の様子や子どもの発育・発達など子どもに関する悩みが多い。そのため、保育者は日々の保育から子どもの姿を捉え、把握しながら子どもと関わる必要とされている。一人一人の“子どもの理解”を深めることが、子どもと保護者の双方を支えていく上で、求められる姿勢であろう。また、その悩みに対する援助や支援方法を探り、伝えていくことも、保護者の養育力を引き出す上で必要とされる子育て支援である。

そこで、保育士養成校では、学生が保育現場で働く姿をイメージしながら、保育者としての資質や技術面を磨き、知識を深めながら、“子どもの理解”を養うための方法や育児相談に対応できる能力を身につける方法を考え実践している。2019～現在に至るまで、ロールプレイやグループワークの演習を取り入れ、対人関係力としての資質能力を伸ばす効果などを研究している。

### 【研究② 絵本の読み聞かせによる子育て支援について】

人生の基盤となる乳幼児期の発達において、保護者と子どもの愛着関係は重要である。しかし、青森県においても核家族化や女性の就労増加に伴い、子育ての悩みを相談できないことや頼れる人が近くにいない、時間に追われて子どもと関わりたくても関われない状況から心に余裕がなく、ストレスを抱えている保護者が多い。

そこで、乳幼児期の親子のコミュニケーションを図る有効的な支援の一つとして、手軽に行える絵本の読み聞かせに着目した。

研究では18組の親子を対象として半年間継続的に絵本の読み聞かせを行い、子どもの発達面や親子関係に与える影響など、子育て支援における絵本に読み聞かせの効果进行研究している。

